

# 第58次南極地域観測隊(JARE58)

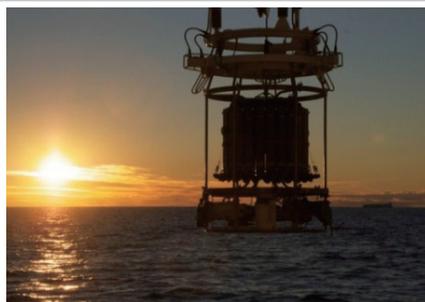
## 「海鷹丸」による海洋観測

基本観測（海洋物理・化学観測）  
海洋生態系モニタリング

一般研究観測（南大洋インド洋セクターにおける海洋生態系の統合的研究プログラム）  
一般研究観測（南極底層水昇温・低塩化期における深層循環の変貌解明）

### ねらい

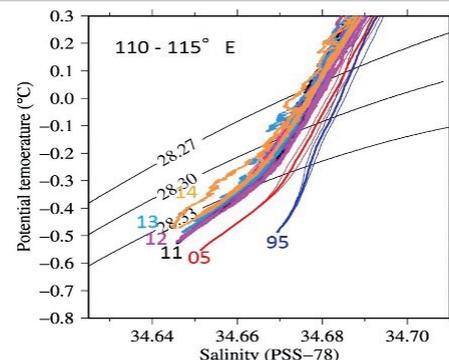
地球温暖化に伴う水温上昇、底層水形成量の変動、物質循環、生態系の変化を中長期的な観測を通してとらえる  
「しらせ」と連携して漂流系観測を実施し、海水融解期の生態系動態解明を目指す



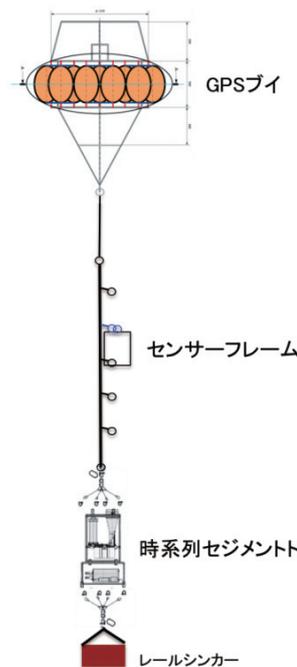
CTD システムによる深層水観測



東京海洋大学「海鷹丸」



基本観測データにより明らかになった南極底層水の昇温と低塩化



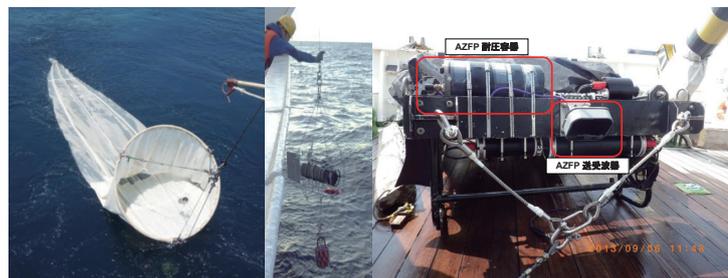
「しらせ」と連携して実施される海水融解期の漂流系観測



ニスキンによる深層海水採取



ナンキョクオキアミと並び、南大洋インド洋セクターの鍵種と考えられるハダカイワシ科魚類の仔魚。これまでの調査から、その初期生活史は海水と密接に関係していることが予想されている。



採水、ネット、音響観測を駆使して海洋生態系を構成するあらゆる生物群を定量観測する。

- ・南大洋における海洋環境及び、生物環境の長期的変動を観測により捉え、その変動プロセスを明らかにするための貴重なデータを獲得する。
- ・海水融解期の海水下生態系観測を実施し、海水中生物群集の放出からはじまる生態系動態と物質循環の理解を目指す。

